



9月号

令和5年8月29日 発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60

Tel(048)466-4711

Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

2学期を迎えて

校長 稲泉 功

この夏は、例年以上に気温の高い日が多く、埼玉県南部である朝霞の地は、内陸性の気候とあいまって厳しい暑さが続いております。例年であればそろそろ空にはすじ雲が現れたり、明け方には風の変化を感じとれる頃ですが、熱中症防止対策につきましてはまだまだ注意が必要です。

さて、生徒の皆さんはどのように夏休みを過ごされたのでしょうか。新聞や報道では、全国で夏の事故が取り上げられ、心配をしていたところですが、皆さんは一人ひとりがしっかりと生活してくれていたようで何よりです。この期間、四中生はよく頑張っておりました。軟式野球部、男子バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、陸上競技部の県大会出場、吹奏楽部の南部地区吹奏楽コンクール金賞受賞（西関東大会出場決定）をはじめ、生徒たちは夏の厳しい暑さにも負けず、活気のある真剣な活動ができておりました。これからの四中生のますますの活躍が、大いに楽しみになっているところです。

今日から、12月22日までの4カ月にわたる長い2学期が始まります。三年生は進路について、自分で選択し挑戦していく時期です。二年生は部活動において三年生の後を受けて中心になって活動していかなくてはなりません。更に、生徒会を引き継いで本校を背負って立つ学年となります。伝統を引き継ぎ発展させる活動を期待しています。一年生は中学校の生活にも慣れ、中学生にふさわしい力を身に付ける大事な2学期です。一人ひとりが目標を掲げて、到達を目指して、努力していくことが大切です。2学期には、学習はもちろんのこと、合唱コンクールをはじめ、修学旅行、フィールドワーク、新人体育大会、生徒会役員選挙等々、生徒の皆さんが自らを大きく伸ばしていくことができる様々な行事や活動が予定されています。

2学期こそ、「収穫の2学期」と言われますように、中学生の皆さんが心身ともに大きく成長する時です。そのためには、受身の姿勢ではなく、「自分からやること」、「自分から挑戦すること」が大切です。学習・行事・部活など様々な場面で、「うまくできないかも知れない」、「失敗したらどうしよう」などの不安はあっても、失敗を恐れず「失敗は成功のもと」と考え、自分からいろいろなことに挑戦して欲しいと願っております。

そのために、私ども教職員は、生徒のチャレンジする勇気や行動、頑張っていることに対して、必ず励まし・認める言葉かけをします。その生徒なりにやろうとしたこと、頑張っていること、できたことをきちんと認めようとしめます。このことは、家庭教育においても大切なことだと考えております。保護者の皆様におかれましても、お子様の気持ちを大切にされた言葉かけで、お子様のやる気を促し、お子様にとって充実した2学期となるよう応援していただければと思っております。

**令和5年度「青少年健全育成の集い」 7/1（土）**

市小・中学校から選出された代表者が、作文発表を行う集い。本校からは、1年生渡辺清佳さんが出場し、市長から表彰を受けました。テーマは「いじめの意味」。いじめについて真っ向から向き合い、堂々と発表する姿は、大変立派でした。